

平成21年度 事務事業シート(一般事務事業)

継続事業(期限を定めず行う事業)

事務事業名	03水域施設・係留施設の維持管理	コード	担当課	港営部海務課
		5082303	連携担当課	(企画調整室)事業担当(建設部)技術管理課維持管理担当、港湾工事事務所、工事課

1 事務事業の目的・目標(PLAN)

政策の体系	政策名	5安全な港		
	基本施策名	08施設の安全性・信頼性の向上		
	個別施策名	23港湾施設の機能を維持・強化する		
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)		航路、泊地などの水域施設及び岸壁、係船浮標などの係留施設を巡視・点検し、経年劣化又は利用者による損傷・不良箇所を補修し、又は補修させます。		
開始年度		昭和 26 年度		
根拠法令・要綱等		港湾施設条例		
事務事業の目的	対象 (誰を、何を)	水域施設・係留施設		
	意図 (どういう状態にしたいのか)	適切に維持・管理し、船舶が安全に着離岸及び係留できるようにする		
活動指標	事務事業の実績を測る指標	単 位	算出方法(式)・指標設定の考え方	中間目標 (年度・目標値)
	修復が必要な係留施設及び泊地の修復率	%	修復を行なった係留施設及び海中障害物を除去した泊地/経年劣化又は利用船舶により損傷した修復が必要な係留施設及び海中障害物の除去が必要な泊地	平成 24 年度 100
	港内巡視	回	週2回×52週	平成 24 年度 104
	事務事業の目的の成果を測る指標	単 位	算出方法(式)・指標設定の考え方	中間目標 (年度・目標値)
成果指標	良好な係留施設及び泊地率	%	修復を必要としない係留施設及び海中障害物の除去を必要としない泊地/全ての係留施設及び泊地	平成 24 年度 100
				平成 24 年度

2 事務事業の実施(DO)

事務事業の実施内容 ＜平成20年度＞ と 平成21年度以降、シート作成時点までに変更した実施内容(ある場合)  (内容は具体的に)		原因者による損傷箇所の修復18件、海中障害物の除去16件、統合補助による堀川口棧橋改良工事1件、外航通船用浮棧橋補修1件			
項 目		単 位	平成19年度 (決算額)	平成20年度 (決算見込額)	平成21年度 (予算額)
事業費 a		千円	76,330	29,240	56,280
人件費 b		千円	10,021	12,999	9,269
職員数	正規職員	人	0.75	1.35	0.75
	嘱託職員	人	0.90	0.30	0.60
	合計	人	1.65	1.65	1.35
総事業費 a+b=c		千円	86,351	42,239	65,549
活動指標	修復が必要な係留施設及び泊地の修復率	目標	100	100	100
		実績 d	37	50	
		単位コスト 千円(c/d)	2,334	845	
	港内巡視	目標	104	104	104
		実績 e	80	90	
		単位コスト 千円(c/e)	1,079	469	
成果指標	良好な係留施設及び泊地率	目標	100	100	100
		実績	77	78	
		達成率	77.0	78.0	
	目標				
	実績				
備考(補足説明等)					

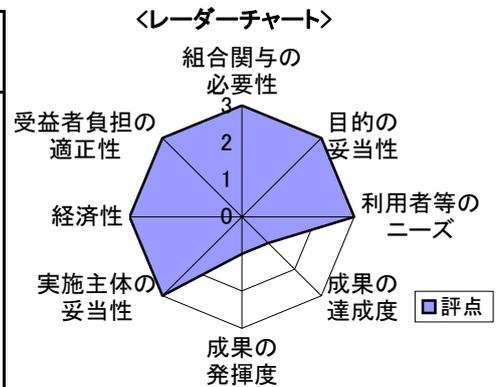
### 3 事務事業の検証<平成20年度実績>(CHECK)

視点	必要性	※各観点ごとに、該当する項目の点数(3~1)を評点欄に記入してください。法令や県市の条例等により実施が義務付けられた事務事業については、全ての観点到点数0を記入してください。	
観点	評点	点数	
組合 関与の 必要性	3	3	本組合が関与すべき事務事業である。
		2	本組合が関与すべき必要性が薄れてきている。
		1	本組合が関与すべき必要性が薄く、事務事業の存続について検討すべきである。
目的の 妥当性	3	3	事務事業の意図は個別施策の成果に結びついており、対象の設定も妥当である。
		2	他港湾の水準や民間競合等の観点から、対象や意図の見直しを検討する必要がある。
		1	事務事業の意図と個別施策の成果との結びつきが低下している。
利用者 等の ニーズ	3	3	ニーズの高い事務事業である。
		2	ニーズに変化がみられ、事務事業の見直しを検討する必要がある。
		1	ニーズが低下している、あるいは、ニーズと比較してサービスの供給が過剰又は不足となっている。

視点	有効性	※各観点ごとに、該当する項目の点数(3~1)を評点欄に記入してください。	
観点	評点	点数	
成果の 達成度	1	3	成果の目標を達成している。
		2	成果の目標を達成していないが、概ね計画どおりに推移している。
		1	成果の目標を達成しておらず、進捗が遅れている。
成果の 発揮度	1	3	事務事業の実施内容に見合った成果が得られている。
		2	事務事業の実施内容を見直すことで、さらなる成果の向上が期待できる。
		1	現在の成果は十分とは言えず、事務事業を継続しても、これ以上、成果の向上は期待できない。

視点	効率性	※各観点ごとに、該当する項目の点数(3~1)を評点欄に記入してください。「受益者負担の適正性」については、事務事業の性質上、該当しない場合は点数0を記入してください。	
観点	評点	点数	
実施 主体の 妥当性	3	3	民間など他の実施主体を活用している、あるいは、本組合が主体となって実施する必要がある。
		2	現段階では、本組合が主体的に実施する必要がある。
		1	他の実施主体の活用により、さらなる効率化は可能である。
経済性	3	3	継続的にコストの削減を進めており、これ以上コストを下げる余地がない。
		2	電子化等の事務改善、事業手法、委託先、契約方法の見直し等により、さらなるコスト削減が期待できる。
		1	単位コストが悪化しており、早急にコスト改善を図る必要がある。
受益者 負担の 適正性	3	3	受益者の負担割合は適正である。
		2	社会経済情勢や他団体の類似事業との比較から判断して、負担割合を見直す必要がある。
		1	社会経済情勢や他団体の類似事業との比較から判断して、相応の受益者負担を求める必要がある。

総合所見	※必要性、有効性、効率性の検証結果から課題・問題点等を整理します。	
事務事業の改善・見直しの余地	<input checked="" type="checkbox"/> 多い	<input type="checkbox"/> 少ない
(所見欄) ※判断理由、課題・問題点等を記入します。	※該当する項目をチェックします。	
<p>統合補助事業及び緊急の事業については、実施しているが、単費による予算化が厳しい状況にあり、満足な維持管理が実施できません。</p>		



### 4 事務事業の改善(ACTION)

事務事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 休廃止			
取組の方向性	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input checked="" type="checkbox"/> 加速	<input type="checkbox"/> 減速	<input type="checkbox"/> 延伸
コスト削減裁量余地	<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無				

今後の改善策等(現実的かつ具体的に)	※個別施策管理シートの判定結果を踏まえ今後の改善策や取組方針を記述します。
<p>原因者不明の施設の損傷については、工事費が本組合持ち出しとなるので、極力原因者を発見し、原因者により修復させるよう海側の巡視を強化します。</p> <p>経年劣化した施設については、維持管理担当の作成する維持管理計画に載せ、計画的に修復できるよう予算要求します。</p>	